

令和6年度社会教育主事講習カリキュラム概要

科目名	単位数	月日	時間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
生涯学習概論	2	7/1～7/15の間	随時	1.5	社会教育・生涯学習振興施策の動向	日本の社会教育・生涯学習振興施策の動向と最新事情について理解を深める(オンデマンド配信)。	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課
		7/1～7/15の間	随時	1.5	社会教育行政と社会教育主事の役割	熊本・鹿児島・宮崎・大分各県における社会教育の目標および主要事業の趣旨・概要について理解するとともに、社会教育主事の仕事の魅力ややりがいについて理解し、社会教育行政および社会教育主事への関心と学習意欲を高める(オンデマンド配信)。	熊本県・鹿児島県・宮崎県・大分県
		7/1～7/15の間	随時	1.5	熊本市の公民館とまちづくり	熊本市における生涯学習政策と社会教育施設、社会教育主事の役割と学習支援を幅広くとらえ、学校教育、まちづくり、生涯学習との関連性を理解する。また、公民館活動体験の事前学習として、熊本市の公民館制度について理解を深める(オンデマンド配信)。	熊本市社会教育主事
		7/16 (火)	15:00-18:00	3.0	青少年教育施設における社会教育指導者の役割	青少年教育施設における野外体験活動(野外調理体験)を通して、指導技術や体験活動に期待される教育的効果および指導者に必要なファシリテーションについて学ぶ。	国立阿蘇青少年交流の家専門職員
		7/16 (火)	19:00-20:30	1.5	社会教育・生涯学習の理念	社会教育・生涯学習の理論的・実証的な視座を得るための枠組みを提示する。生涯にわたって学び続けることや、家庭、学校、地域の連携・協働の意味など、教育の本質を問う。また、九州の生涯学習社会を考えるために、学校・家庭・地域の教育状況について概観し、特に南九州に特徴的な社会教育実践を明確化し共有する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		7/17 (水)	9:00-10:30	1.5	社会教育からみる子ども・若者	社会教育における子ども・若者論の歴史的変遷を踏まえ、今日の子ども・若者支援、ユースワークの意義と実践、そして可能性と課題について整理し、子ども・若者の主体性と社会教育の関係を問い直す。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		7/17 (水)	10:30-12:00 13:00-14:30	3.0	自治体公民館の制度と機能	自治体再編など地域づくりの枠組みが大きく変容している現在、諸塚村の村づくりは行政と自治公民館が表裏一体、車の両輪として進められ、住民主体の自治公民館活動を基盤に形成されている。諸塚村の自治公民館活動のあり方を中心に諸塚村の社会教育および宮崎県の生涯学習・社会教育の実情を学ぶことで、自分が住んでいる地域の課題等について考える。	諸塚村教育長 竹内 一久
		7/17 (水)	14:30-17:30	3.0	離島・へき地における地域の自立と教育	鹿児島県、宮崎県、熊本には中山間へき地が多く、鹿児島県の奄美地方、熊本の天草地方など、広域の離島群が存在する。この地理的な特性を理解したうえで、どのような社会教育・生涯学習の振興が求められるのか、その方向性が描けるようになることを講義目標とする。	鹿児島大学法文学部准教授 農中 至
		7/24 (水)	10:25-11:55 12:55-14:25 14:40-16:10	4.5	社会教育における問いの技法	地域の人づくりつながり・地域づくりを担う社会教育士にとって地域住民の声を聞き、解きべき課題を定めること、そして解像度の高い問いを立てることが肝要である。社会教育・生涯学習における問いの立て方並びにその検証・調査方法について理解する。	鹿児島大学法文学部准教授 酒井佑輔
		7/29 (月)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育・生涯学習の法と制度	戦後教育改革の一環としてつづられた社会教育制度の基本的な特色を確認する。戦後日本の教育改革期において形成された社会教育制度の理念と1970年代以降の生涯学習政策の動向を理解する。	名桜大学国際学群教授 嘉納 英明
		7/29 (月)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	義務教育未修了者の学習権と夜間中学	義務教育未修了者の現状と学習権保障に関する国際法や国内法を理解し、義務教育未修了者の学習権保障にむけた自分なりの展望をもつことができることをめざす。具体的には、義務教育未修了者の現状と学習権保障に関する国際法や国内法を理解し、夜間中学をめぐる今日的動向を理解する。そして、義務教育未修了者の学習権保障にむけた自分なりの展望をもつことができるようになる。	福岡大学人文学部教授 添田 祥史
		7/30 (火)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育の歴史	「社会教育」という言葉や概念の移り変わり、「社会教育」と「生涯学習」など、関連する用語との違いを理解する。まず「社会教育」という言葉の概念を検討し、その検討に基づき、「社会教育」の歴史を古代から近代まで、学校教育の歴史と比較しながら説明する。特に近代に関しては、「社会教育」の概念の変遷、あるいは公民館、博物館、図書館の成立についても説明する。	中村学園大学教育学部教授 圓入 智仁
7/30 (火)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	社会教育の現代的意義	社会教育は日本社会の構造的変化に対し、「学び」による住民自治を社会に実装する役割が求められている。そのために社会教育は何をすべきか、社会教育の現代的意義について考察する。社会教育の概念および社会教育主事の役割の変遷を踏まえ、今日の「人生100年時代」における人づくり、地域づくり実践における社会教育の再定位の方法と現代的意義を再検討する。	東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤		
8/7 (水)	12:55-14:25	1.5	熊本大学のリカレント教育と地域貢献	熊本大学は、地域の教育及び文化の向上・発展や多様な分野における人材育成などに寄与するため、本学の生涯学習機能を強化し、地域社会の発展に貢献する事業を展開している。社会に開かれた大学としての役割、リカレント教育の意義について紹介する。	熊本大学副学長 金岡 省吾		
小計				34.5			

科目名	単位数	月日	時間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
生涯学習支援論	2	7/18 (木)	9:00-12:00	3.0	障害者の学びと生涯学習支援	障害者の学びは、学校教育を卒業したあとも、労働の場や地域社会においてどのように保障すべきか、基本的視座を提起する。ノーマライゼーションや共生社会のあり方についての理解を深め、障害および障害を抱える人々とともに生きていくことへの展望を描けるようになることを目標とする。	熊本大学大学院教育学研究科准教授 黒山 竜太
		7/18 (木)	13:00-16:00	3.0	生涯スポーツ・レクリエーション	生涯スポーツ・レクリエーションの意義や効果について理解を深め、生涯スポーツとして行われている体操・ダンス等を例に、実習を通して教材や指導法の留意点を理解し、社会体育の指導に生かすことができるようにする。	熊本大学大学院教育学研究科教授 坂下 玲子
		7/18 (木)	16:00-17:30	3.0	学習支援の理論と実践	ボランティア活動における学習支援の理論と実践を考える。地域社会における市民の底力ともいえるボランティア活動を深く理解し、ボランティアによる学びとその手法を検討し実践に活かす力を身につけることをめざす。さらに様々な場面で市民一人一人が社会に主体的に参画する手掛かりを探る。	日本文理大学人間育成センター長 高見 大介
		7/19 (金)	9:00-10:30		学習プログラムの編成	社会教育事業の企画立案を通して、地域課題の仮説の立て方や企画をユニークにするための発想の転換、事業評価の視点について理解を深める。	日本文理大学人間育成センター長 高見 大介
		7/19 (金)	13:00-16:00	3.0	多様化する家庭と子ども支援	家族の多様化に伴う家族支援の必要性について理解を深めるとともに、社会教育として子育て家族への支援のあり方を論じる。具体的には従来の「標準的家族」を相対化してとらえ、多様化する家族と子どもに対する支援の必要性を理解する。さらに、家族支援・子ども支援としての社会教育の可能性を探り、支援方法について主体的に考える。	熊本大学大学院教育学研究科准教授 藤井 美保
		7/22 (月)	10:25-11:55 12:55-14:25 14:40-16:10 16:25-17:55	6.0	参加型学習とファシリテーション	教育現場では、学校をはじめ地域住民、PTA、NPO、企業などが連携して、地域づくりや人づくりに貢献することが求められている。また、対話的・主体的な学びであるアクティブ・ラーニングはこれからの世代の学びの基盤として、多様な主体との対話な場づくり等を通じて着実に広がっている。このような様々な学習者の特性を理解し、その特性に応じた学習支援の技術であるファシリテーションの基礎と実践を講義とワークショップを通じて体感しながら体系的に学ぶ。	加留部貴行事務所AN-BAI 代表 加留部 貴行
		7/31 (水)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	ICTを活用した深い学びと地域づくりの実際	ICTの活用、「いま」と「未来」について、協働的・対話的な学びの成果を地域づくりに活かしていく方途を検討する。2019年度からスタートした学校教育における「GIGAスクール構想」に加えて、コロナ禍において地域社会においても一気に加速したICT活用の実際を整理し、Society 5.0 時代を生き抜くための資質能力として求められる「情報活用能力」を基盤とした深い学びについて、理解する。	宮崎県教育庁高校教育課指導主事 上水 陽一
		7/31 (水)	12:55-14:25	1.5	中高生の主体性を育む学習支援	中高生が主体性をもち、つくりたい未来に向けて探究し行動を起していけるよう、伴走型サポートを行う全国高校生マイプロジェクトの取り組みを紹介し、中高生の自発的で他者との協働を生み出す活動を地域社会の変革へと結びつける学習支援の方策を提案する。	全国高校生マイプロジェクト熊本県事務局 井下 友梨花
		7/31 (水)	14:40-16:10 16:25-17:55	3.0	外国人の学習支援ネットワークの形成	南九州における外国人への学習支援の現状について、鹿児島県のNGOの日本語教室や外国ルーツの子ども学習支援等の事例をもとに考え理解する。また、外国人の学習支援の現状について理解し、それぞれの地域における外国人の学習支援の現状を踏まえ、学習支援ネットワークの形成に社会教育が果たす役割について考える。	鹿児島大学非常勤講師 山下 直子
		8/1 (木)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	ものづくり教育における学習支援と技能	ものづくりの教育的意義と現状を解説し、社会教育におけるものづくり教育の意義を理解する。具体的なものづくり教育の構想を立てることができることをめざす。	熊本大学大学院教育学研究科教授 田口 浩継
小計				30.0			

科目名	単位数	月日	時間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
社会教育経営論	2	7/23 (火)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	社会教育行政の戦略と経営	自治体政策をめぐる現代的状況と社会教育行政の役割について理解し、多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決等につなげていくための知識を習得する。	北九州大学文学部教授 恒吉 紀寿
		7/23 (火)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	社会教育における連携と協働	これからの社会教育に期待される連携・協働についての意義と課題、可能性について理解を深める。教育行政と一般行政との関係を軸におきながら、学校や大学等の生涯学習関係機関、NPO等の市民団体、民間事業者など多様なアクター・施設との関係において、社会教育の固有性や特性を踏まえた連携・協働のあり方を構想できる知見の獲得をめざす。	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子
		8/1 (木)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	町内会・自治会経営の技法	地域社会の変動において歴史的に理解し、近年における地域自治組織の弱体化を踏まえつつ、新たな地域創造のために必要な学習や実践について考察する。また、社会教育主事として「地域社会の課題」とどのように向き合っていくかについて具体的なイメージを確立	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満
		8/2 (金)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	自治体経営と社会教育行政	地域住民とともに学び成長する社会教育職員像を獲得するとともに、地域住民の学びを基盤とした地域・自治体づくりの重要性を理解する。具体的には、信州における代表的な社会教育実践を展開した松本市と阿智村の事例を紹介しつつ、自治体で働く社会教育職員が自らの仕事に誇りを持ちながら、希望をもって仕事をしていくための条件とは何かということを考察する。	松本大学総合経営学部准教授 向井 健
		8/2 (金)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	公民館の経営と計画	多様な機関団体と連携した子どもの居場所づくりや多文化共生の取り組みなど、公民館を拠点に自治を育む社会教育活動について解説する。	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤
		8/2 (金)	16:25-17:55	1.5	学習成果の活用法	プログラム企画の事前・事後の手順を理解して、学習プログラムを立案する。そのために、地域のニーズ、課題を析出し、課題を解決するアイデアを出し合い、形にしていくプロセスが重要となる。こうした一連の作業を通して、実際の社会教育現場で生かせるノウハウを習得する。	那覇市立若狭公民館館長 宮城 潤
		8/5 (月)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	地域博物館のまちづくり	社会教育施設である博物館のもつ役割や機能、活動を理解する。博物館の運営形態、組織、経営戦略の現状について理解し、その課題を整理する。	御船町恐竜博物館学芸員 富澤 由規子
		8/5 (月)	12:55-14:25	1.5	地域のネットワーク形成と社会教育	家庭・学校・地域との連携・協働をはじめ、福祉、働き方、環境、防犯や防災など様々な地域課題解決に関して、自治体や学校、企業、NPOなどの各種ステークホルダーとの連携・協働を図るために必要なプレゼンテーション・ファシリテーション・コーディネート能力を身につける。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 西米良集落支援従事者 富井 俊
		8/5 (月)	14:40-16:10	1.5	社会教育の経営・広報戦略	社会教育計画の企画・立案・運営を、持続可能なPDCAサイクルを回すことで、参加者とともに行う評価や改善にも結び付けられるよう、参加型のプロジェクトマネジメント技術、シビックプライドを涵養し、社会教育の意義をPRする力を身につける。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人 エンコミュニティ代表 山中 はるな
		8/5 (月)	16:25-17:55	1.5	社会教育における人づくり・まちづくり	南九州の離島・中山間地という特徴と少子・高齢化社会の実態を踏まえ、南九州で考えうる持続可能な人づくり・地域づくりについてワークショップ形式で検討する。小さな社会でも豊かに暮らし続けるためには、どのような社会的共通資本が必要なのか、これまでの学習をとおして、社会教育ができることをシミュレーションする。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人
		8/6 (火)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	災害教育と地域マネジメント	自然災害に対する対策や被災後の復興を理解し、地域コミュニティが被災前と変わらず継続していくためにはどのような準備をしたらいいのか、適切な活動方法を提案することができる。	東海大学文理融合学部准教授 安部 美和
		8/6 (火)	12:55-14:25 14:40-16:10	3.0	女性の学習とエンバワメント	ジェンダーギャップ指数の順位が146か国中116位(2022)という低位が続く日本、とりわけ政治(139位)・経済(121位)分野が低いことを踏まえ、女性労働の非正規雇用率の高さ、低賃金に着目し、その背景とメカニズムを学ぶとともに、女性が学習を通して再就職(エンバワメント)していく事例を学ぶ。	福岡女子大学国際文理学部教授 野依 智子

小計 30.0

科目名	単位数	月日	時間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
社会教育演習	2	7/1 (月)	19:30-21:00	1.5	研究レポートの目的と方法	研究レポートのテーマ設定、情報収集、執筆方法という一連の作業について概説し、本講習での学びをアウトプットするためのレポートの意義および目標を共有する。講習が始まるまでに必要な事前学習と課題を提示する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		7/17 (水)	19:30-21:00	1.5	演習1	本講習を受講した理由・動機から、研究レポートの問いを温めるグループワークを実施する。	鹿児島大学法文学部准教授 農中 至
		7/23 (火)	16:25-17:55	1.5	演習2	講習2週目の全体的な振り返りも意識し、学校と地域の連携・協働および社会教育と学校教育の協働形成の課題に関する講義を振り返るワークを実施する。	鹿児島大学法文学部教授 小栗 有子
		7/29 (月)	16:25-17:55	1.5	演習3	各種データの活用方法について学習する。具体的には国勢調査のデータをもとに、各都道府県・市町村単位でデータを抽出し、白地図にデータを落としいく手法について学び、研究レポートに活かす手法を獲得する。	福岡大学人文学部教授 添田 祥史
		7/30 (火)	16:25-17:55	1.5	演習4	各自のレポートについて課題や今後の作業についてグループで検討し、最後の仕上げに向けての指導助言をおこなう。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		8/1 (木)	16:25-17:55	1.5	演習5	研究レポートの校正と仕上げに向けた作業を行う。グループで現時点における各自の研究レポートを講評し、課題の整理と残された作業を確認し、レポート完成をめざす。	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満
		7/24 (水)	8:40-10:10	1.5	現地研修事前指導	現地研修の目的・目標を確認し、受け入れ自治体に関する情報と社会教育・生涯学習事業、日程等について事前学習を行う。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		7/25 (木)	14:00-17:00	3.0	現地研修	九州の各自治体の特色ある社会教育・生涯学習事業および地域づくり、社会教育主事の役割について、体験を通して学ぶことをめざす。	各県社会教育施設の社会教育主事等(4自治体)
		7/26 (金)	9:00-12:00 13:00-17:00	7.0			
		7/27 (土)	9:00-12:00	3.0			
		8/3 (土)	9:00-12:00 13:00-16:00	6.0	公民館活動体験	熊本市の公立公民館における社会教育主事の仕事、事業・講座、団体との連携について、一日の取り組みを通して体験学習を行う。	熊本市内公民館の社会教育主事等(6館)
		8/7 (水)	8:40-10:10 10:25-11:55	3.0	現地研修報告会	現地研修での学びを全員で共有する報告会を、受け入れ自治体の職員および関係者の参加のもと開催し、学習成果の確認と講評をおこなう。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋 熊本大学大学院教育学研究科教授 坂下 玲子

小計 32.5

総計 127.0